

基礎原案での記載箇所		章項目	5.3.1	ページ	p.43	行	1行目
事業名	堤防補強		河川名	猪名川			
府 県	兵庫県	市町村	尼崎市		地先	戸ノ内	

現状の課題

現在の堤防は必ずしも防災構造物としての安全性について十分な信頼性を有しているとはいえない。破堤による被害ポテンシャルは現在においても増大し続けており、破堤すれば、人命が失われ、家屋等が破壊され、ライフラインが途絶する等、ダメージを受けることとなる。

河川整備の方針

堤防補強

高規格堤防の整備区間及びその他の区間において緊急な対策が必要な区間においては、堤防補強を実施する。併せて、対策効果のモニタリングを実施する。実施の優先度は、破堤したときの背後地への被害影響、堤防危険度を考慮して、緊急堤防補強区間を設定し優先的に実施する。

位置図



詳細調査実施箇所

具体的な整備内容

堤防詳細調査実施延長

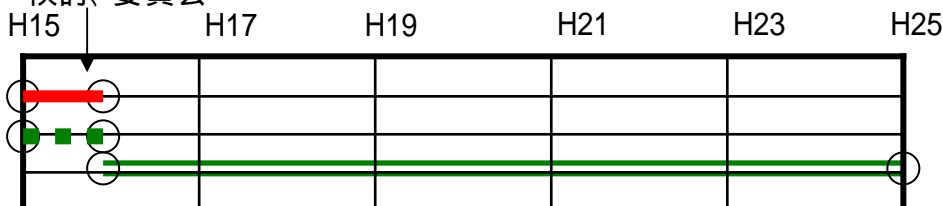
(調査の結果必要な箇所にて堤防補強を実施) 約200m

事業の数量・諸元等

浸透対策 約200m

スケジュール

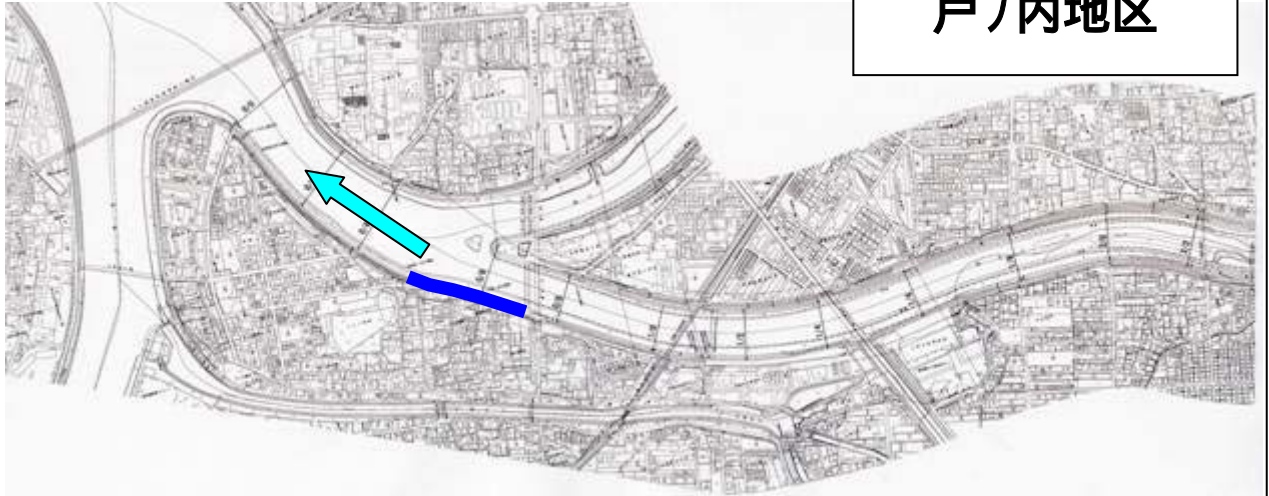
検討、委員会



- 検討
- 委員会
- 試行
- 実施

平面図

猪名川
戸ノ内地区



堤防詳細調査実施延長
(調査の結果必要な箇所にて堤防補強を実施)
約200m

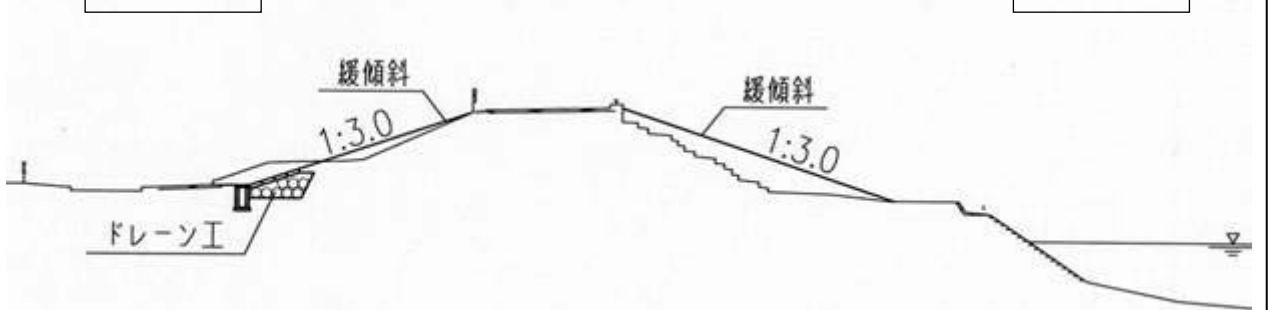
— 浸透

横断図

< 堤防補強の一例 >

川裏側

川表側

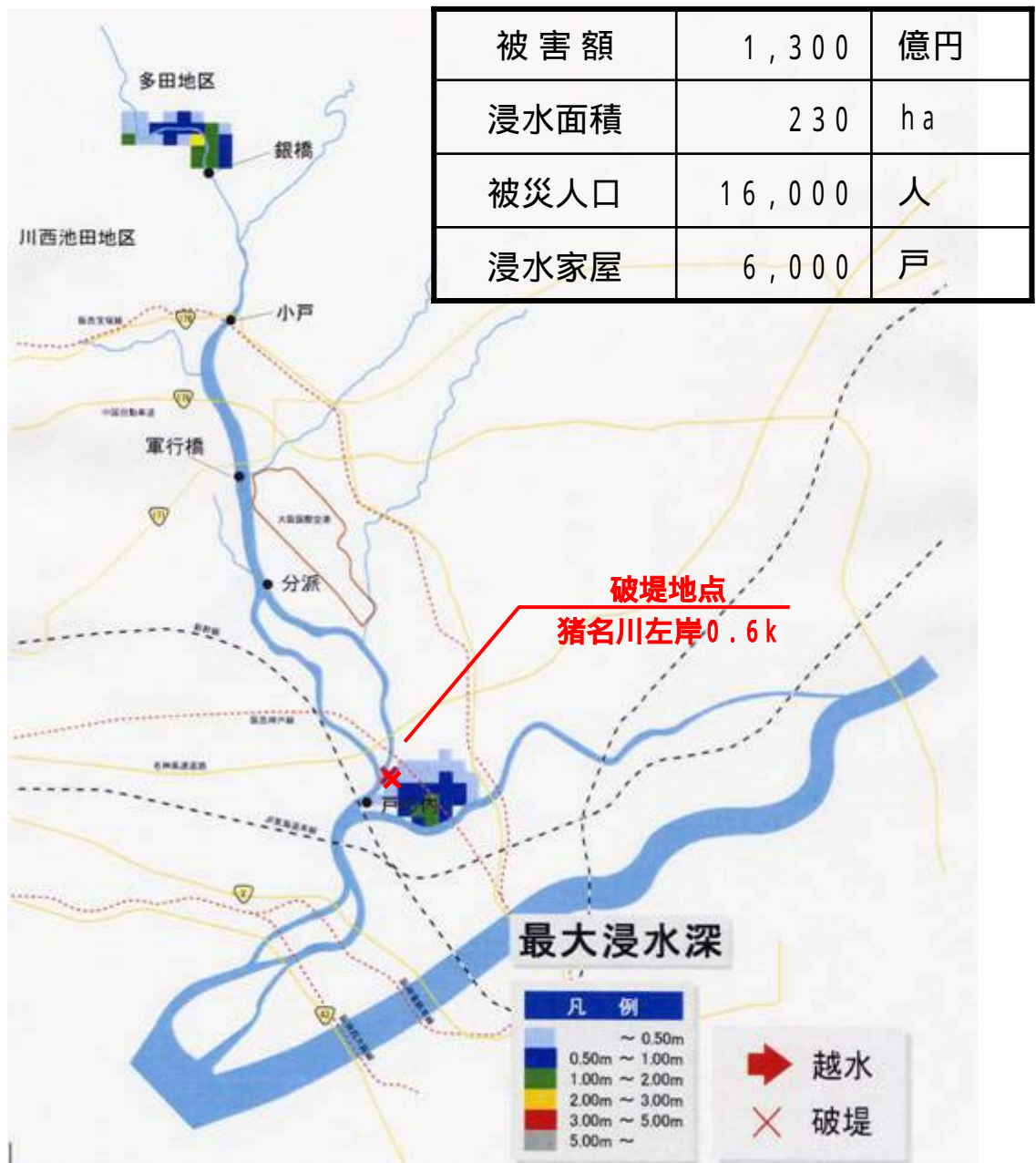


実施にあたり現地に則した具体的補強手法を「淀川堤防強化検討委員会」(H15.4設立)で早急に検討する。

整備効果

堤防補強により、破堤による洪水被害の回避・軽減を図る。

現状河道でS35.8月洪水実績降雨で計算した場合の流量による想定被害



現地写真

上空



地上



(猪名川左岸0.6km付近)

基礎原案での記載箇所		章項目	5.3.1	ページ	p.43	行	1行目
事業名	堤防補強		河川名	猪名川			
府県	兵庫県	市町村	尼崎市		地先	田能	

現状の課題

現在の堤防は必ずしも防災構造物としての安全性について十分な信頼性を有しているとはいえない。破堤による被害ポテンシャルは現在においても増大し続けており、破堤すれば、人命が失われ、家屋等が破壊され、ライフラインが途絶する等、ダメージを受けることとなる。

河川整備の方針

堤防補強

高規格堤防の整備区間及びその他の区間において緊急な対策が必要な区間においては、堤防補強を実施する。併せて、対策効果のモニタリングを実施する。実施の優先度は、破堤したときの背後地への被害影響、堤防危険度を考慮して、緊急堤防補強区間を設定し優先的に実施する。

位置図



具体的な整備内容

堤防詳細調査実施延長

(調査の結果必要な箇所で堤防補強を実施) 約200m

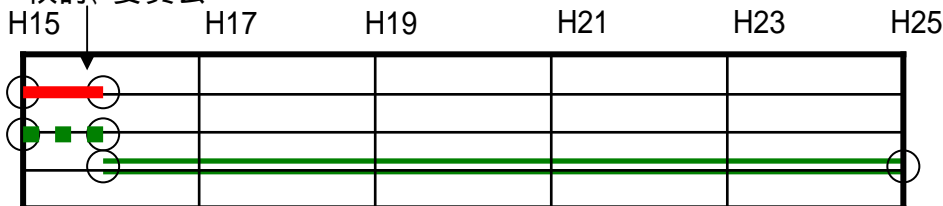
事業の数量・諸元等

・全体数量

浸透対策 約200m

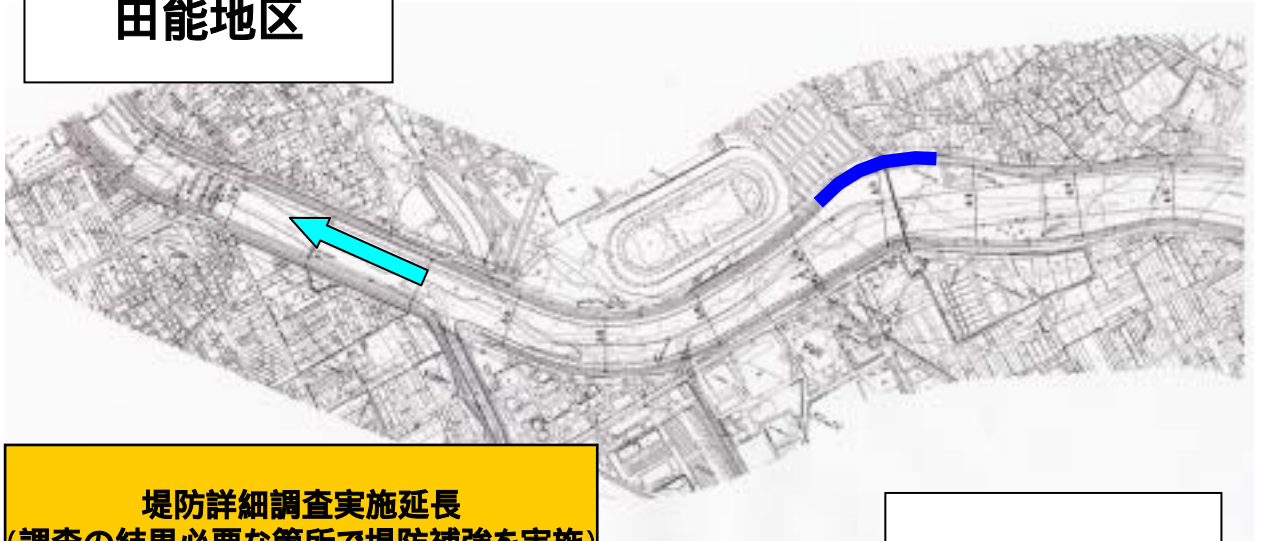
スケジュール

検討、委員会



- 検討
- 委員会
- 試行
- 実施

平面図

猪名川
田能地区

堤防詳細調査実施延長
(調査の結果必要な箇所で堤防補強を実施)
約200m

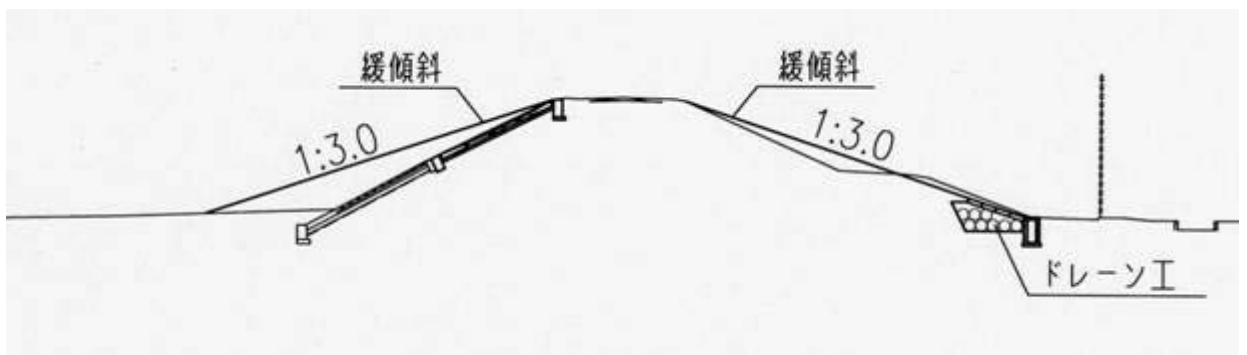
— 漫透

横断面図

< 堤防補強の一例 >

川表側

川裏側



実施にあたり現地に則した具体的補強手法を「淀川堤防強化検討委員会」(H15.4設立)で早急に検討する。

整備効果

堤防補強により、破堤による洪水被害の回避・軽減を図る。

現状河道でS35・8月洪水実績降雨で計算した場合の流量による想定被害

被害額	2,400	億円
浸水面積	320	ha
被災人口	33,000	人
浸水家屋	13,000	戸



現地写真

上空



地上



(猪名川右岸4.2km付近)

基礎原案での記載箇所		章項目	5.3.1	ページ	p.43	行	1行目
事業名	堤防補強		河川名	猪名川			
府県	兵庫県	市町村	伊丹市		地先	岩屋	

現状の課題

現在の堤防は必ずしも防災構造物としての安全性について十分な信頼性を有しているとはいえない。破堤による被害ポテンシャルは現在においても増大し続けており、破堤すれば、人命が失われ、家屋等が破壊され、ライフラインが途絶する等、ダメージを受けることとなる。

河川整備の方針

堤防補強

高規格堤防の整備区間及びその他の区間において緊急な対策が必要な区間においては、堤防補強を実施する。併せて、対策効果のモニタリングを実施する。実施の優先度は、破堤したときの背後地への被害影響、堤防危険度を考慮して、緊急堤防補強区間を設定し優先的に実施する。

位置図



具体的な整備内容

堤防詳細調査実施延長

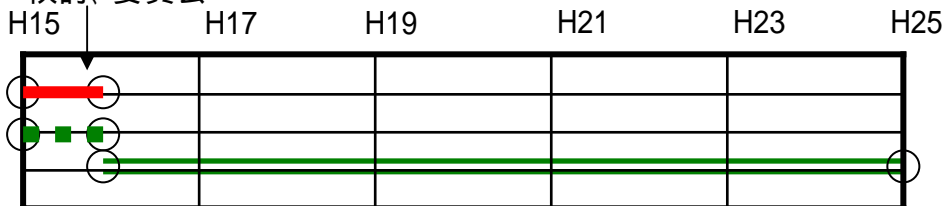
(調査の結果必要な箇所で堤防補強を実施) 約200m

事業の数量・諸元等

浸透対策 約200m

スケジュール

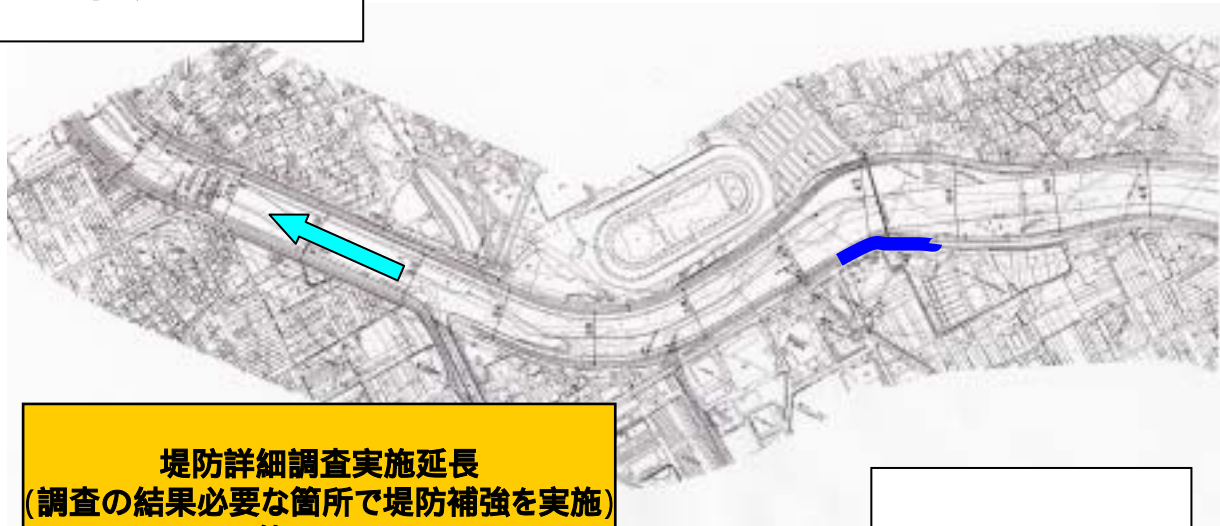
検討、委員会



- 検討
- 試行・委員会
- ▬ 実施

平面図

猪名川
岩屋地区



堤防詳細調査実施延長
(調査の結果必要な箇所で堤防補強を実施)
約200m

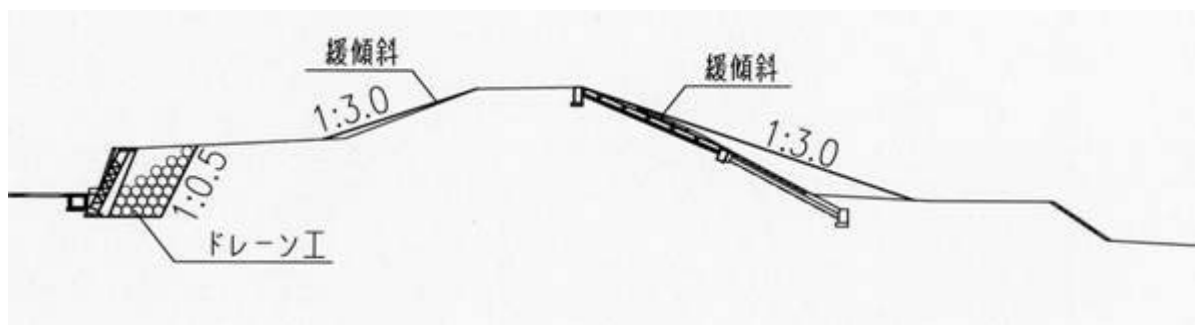
— 浸透

横断面図

< 堤防補強の一例 >

川裏側

川表側



実施にあたり現地に則した具体的補強手法を「淀川堤防強化検討委員会」(H15.4設立)で早急に検討する。

整備効果

堤防補強により、破堤による洪水被害の回避・軽減を図る。

現状河道でS35・8月洪水実績降雨で計算した場合の流量による想定被害



現地写真

上空



地上



(猪名川左岸4.2km付近)

基礎原案での記載箇所		章項目	5.3.1	ページ	p.43	行	1行目
事業名	堤防補強		河川名	猪名川			
府県	兵庫県	市町村	伊丹市		地先	天津・北河原	

現状の課題

現在の堤防は必ずしも防災構造物としての安全性について十分な信頼性を有しているとはいえない。破堤による被害ポテンシャルは現在においても増大し続けており、破堤すれば、人命が失われ、家屋等が破壊され、ライフラインが途絶する等、ダメージを受けることとなる。

河川整備の方針

堤防補強

高規格堤防の整備区間及びその他の区間において緊急な対策が必要な区間においては、堤防補強を実施する。併せて、対策効果のモニタリングを実施する。実施の優先度は、破堤したときの背後地への被害影響、堤防危険度を考慮して、緊急堤防補強区間を設定し優先的に実施する。

位置図



具体的な整備内容

堤防詳細調査実施延長

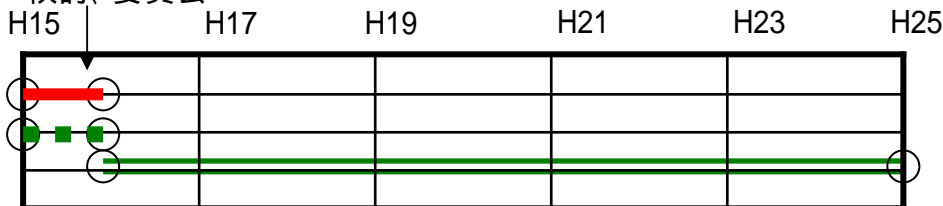
(調査の結果必要な箇所にて堤防補強を実施) 約700m

事業の数量・諸元等

侵食対策 約700m

スケジュール

検討、委員会



- 検討
- 試行・委員会
- 実施

平面図

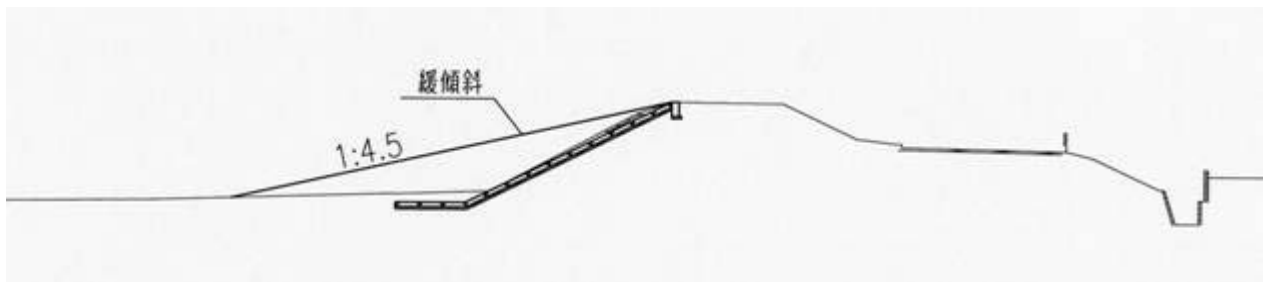
**猪名川
天津・北河原地区**

横断面図

< 堤防補強の一例 >

川表側

川裏側

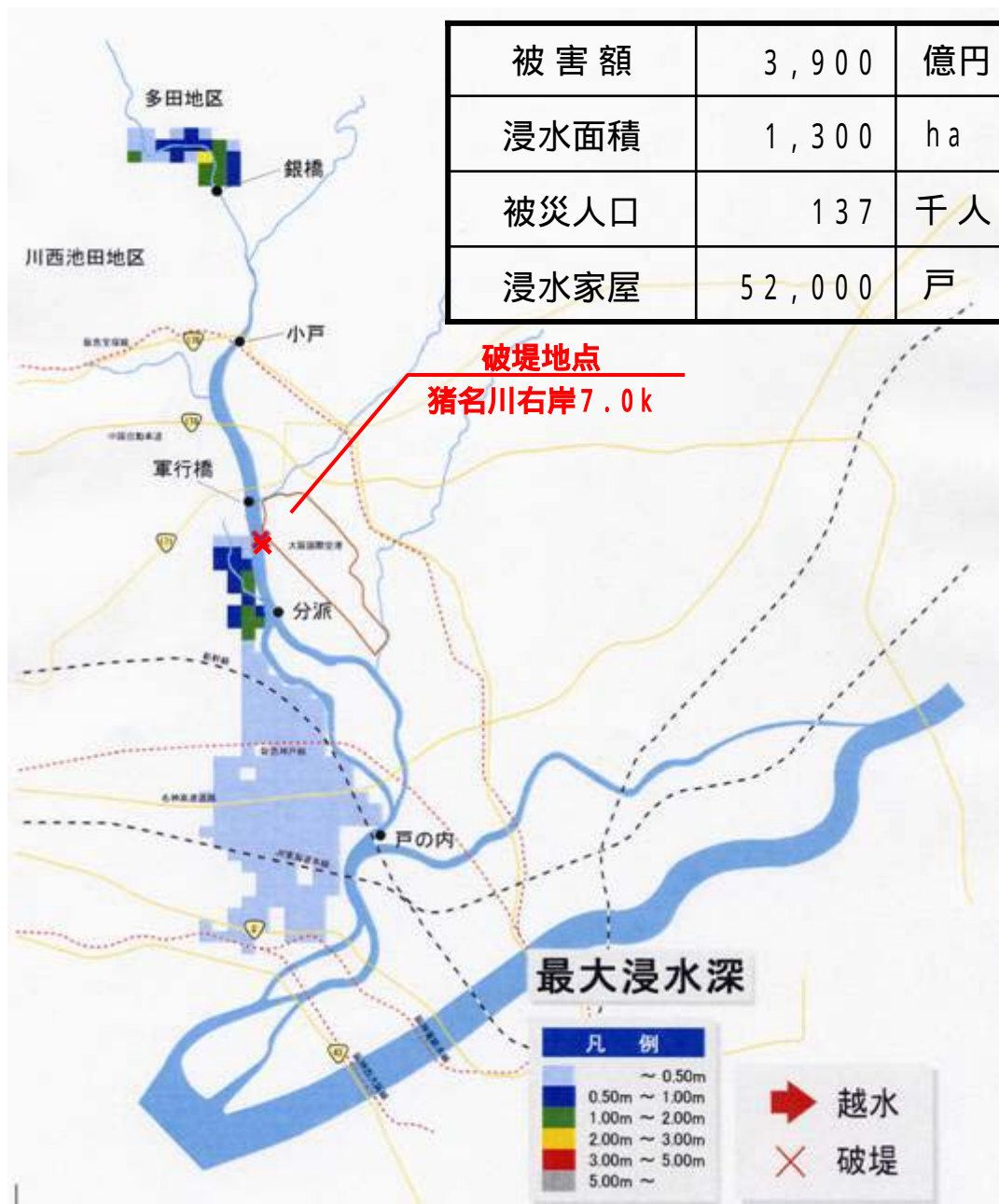


実施にあたり現地に則した具体的な補強手法を「淀川堤防強化検討委員会」(H15.4設立)で早急に検討する。

整備効果

堤防補強により、破堤による洪水被害の回避・軽減を図る。

現状河道でS35.8月洪水実績降雨で計算した場合の流量による想定被害



現地写真

上空



地上



(猪名川右岸7.0km付近)

基礎原案での記載箇所		章項目	5.3.1	ページ	p.43	行	1行目
事業名	堤防補強		河川名	猪名川			
府県	兵庫県	市町村	伊丹市		地先	東桑津・中村	

現状の課題

現在の堤防は必ずしも防災構造物としての安全性について十分な信頼性を有しているとはいえない。破堤による被害ポテンシャルは現在においても増大し続けており、破堤すれば、人命が失われ、家屋等が破壊され、ライフラインが途絶する等、ダメージを受けることとなる。

河川整備の方針

堤防補強

高規格堤防の整備区間及びその他の区間において緊急な対策が必要な区間においては、堤防補強を実施する。併せて、対策効果のモニタリングを実施する。実施の優先度は、破堤したときの背後地への被害影響、堤防危険度を考慮して、緊急堤防補強区間を設定し優先的に実施する。

位置図



具体的な整備内容

堤防詳細調査実施延長

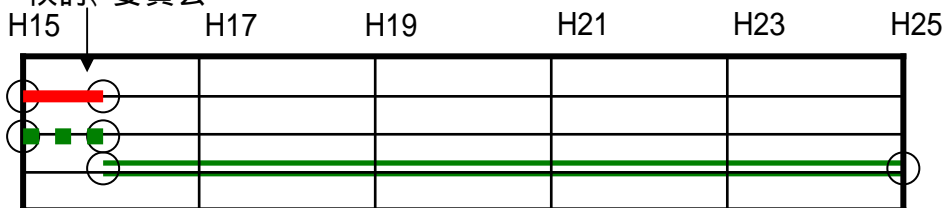
(調査の結果必要な箇所にて堤防補強を実施) 約500m

事業の数量・諸元等

侵食対策 約500m

スケジュール

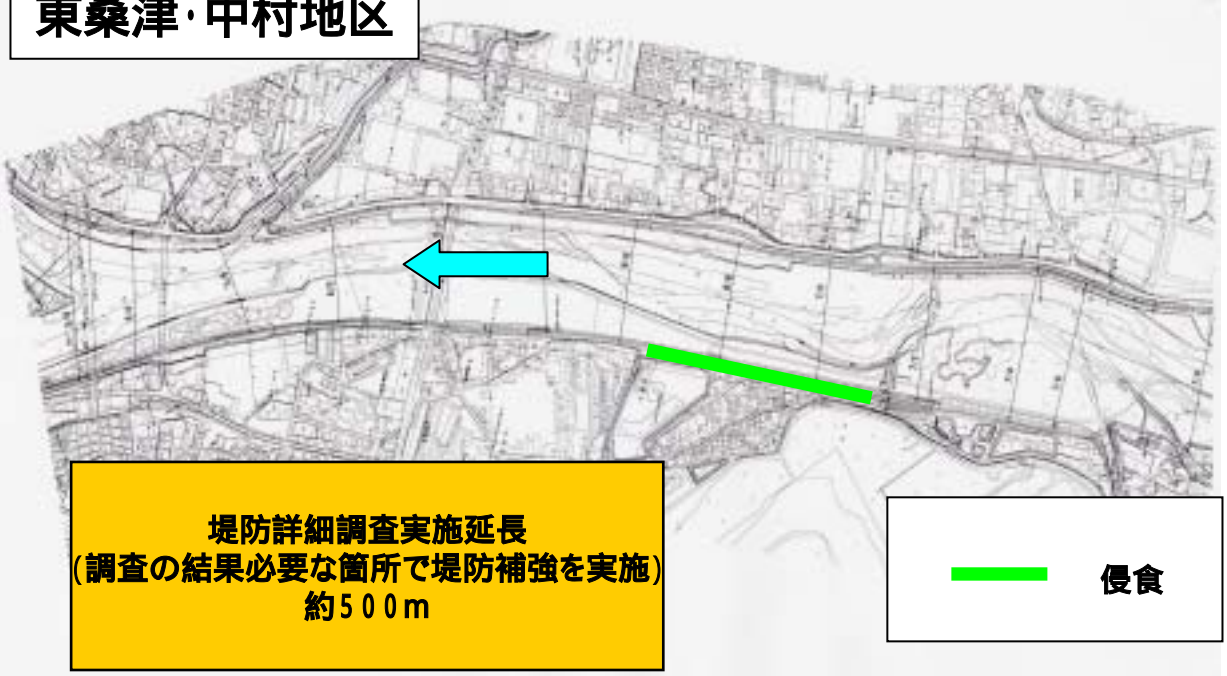
検討、委員会



- 検討
- 試行・委員会
- ▬ 実施

平面図

**猪名川
東桑津・中村地区**

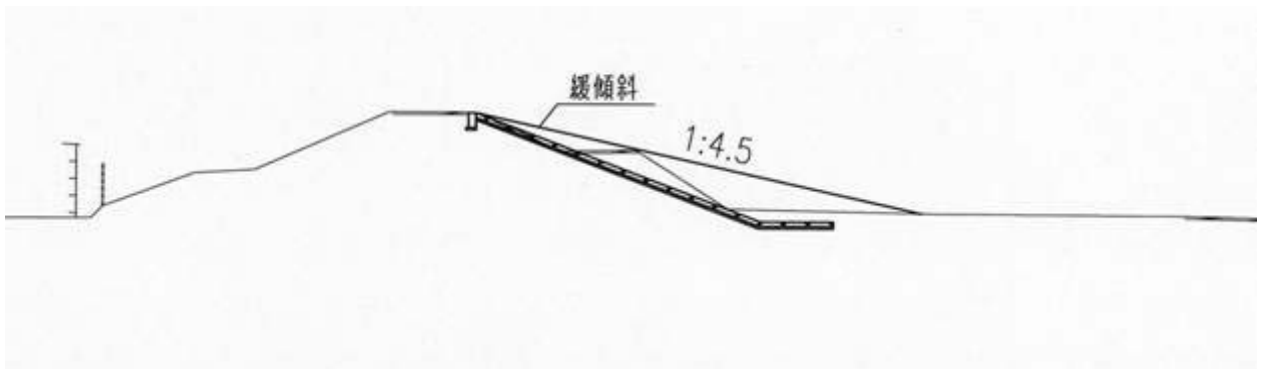


横断面図

< 堤防補強の一例 >

川裏側

川表側



実施にあたり現地に則した具体的補強手法を「淀川堤防強化検討委員会」(H15.4設立)で早急に検討する。

整備効果

堤防補強により、破堤による洪水被害の回避・軽減を図る。

現状河道でS35・8月洪水実績降雨で計算した場合の流量による想定被害



現地写真

上空



地上



(猪名川左岸7.0km付近)